

公開質問状

北海道に夜間中学をつくる会
共同代表 亀貝一義 工藤慶一

1990年4月、「学びたい人が、生きることのあかしと喜びを見出せる場、仲間と共に楽しく学べる場」を目指し、ここ札幌に、札幌遠友塾自主夜間中学を開設しました。そしてここでは、21年にわたって、約400人が学んでいます。

さらに、戦争、貧困などのために学齢期に修学することのできなかつた中高年齢者、在日韓国・朝鮮人および中国帰国者などの多くの人たちが道内にいることから、札幌遠友塾のスタッフが中心となり、2007年、「北海道に夜間中学をつくる会」を設立しました。

その後、北海道内において、旭川遠友塾、函館遠友塾、釧路「くるかい」が開講し、約200人を超える人たちが自主夜間中学で学んでおります。各自主夜間中学は、「生活体験発表」など学びをつうじた交流をおこなっております。

全国8都府県には、公立中学校夜間学級が35校あり、約2,500人（2010年9月）が学んでおります。しかし道内には、義務教育を受ける機会が実質的に得られていない人たちは、10万人を超えているだろうと推測されていますが、いまだ、1校の公立夜間中学校も開校されていません。

そのため、私たちは政令指定都市札幌市に、公立夜間中学を開設することを求めています。くわえて、道内自主夜間中学にたいし学校教室の利用、財政支援などを求めています。

札幌遠友塾は、2009年4月より、札幌市そして札幌市教育委員会の援助を受け、札幌市立向陵中学校の教室を利用することができるようになりました。その利用を得て、受講生の学ぶ喜びはもとより、学校教職員や生徒さんからの励まし、PTAや学区町内会との交流も、少しながらおこなえるようになってきています。

私たちはこのような温かい励ましや交流から、義務教育を受ける機会が実質的に得られていない人たちを交えた学校は、必ずや「地域コミュニティの拠点」になることができる、と信じております。

そして、札幌市に公立夜間中学の開設と自主夜間中学への学習の充実にむけた支援をお願いします。

これらのこと、立候補予定者各位のお考えをお示しいただきたく、公開質問状をお送りします。ご回答は告示前日、3月23日（知事選）、3月26日（市長選）、3月31日（市議選）にお示し下さい。よろしくお願い申し上げます。

062-0035 札幌市豊平区西岡5条13丁目7-5

工藤慶一

電話/FAX： 011-584-3369

E-Mail： kudoku@jcom.home.ne.jp